

【FdData 中間期末：中学歴史：江戸時代②】

【享保の改革】

【問題】(3 学期)

徳川吉宗の享保の改革について、文中の() に[]から適語を選べ。

吉宗は(①)の制を定め、大名の参勤交代を一時的にゆるめるかわりに、幕府に米を献上させた。また、民衆の意見や希望を政治に生かすため、市中に(②)を設置した。新田の開発を奨励したが、年貢の率を(③)にまで引き上げたため、農民たちが年貢引き下げを要求する(④)がおこり、都市でも商人に対する(⑤)がおこった。

この改革では、武士に(⑥)をすすめるとともに、公正な裁判を行うために(⑦)を定めるなど、政治体制の引き締めを行ったが、根本的な解決にはならなかった。

[百姓一揆 質素儉約 上げ米 目安箱

五公五民 四公六民 打ちこわし

武家諸法度 公事方御定書 商品作物]

【解答】① 上げ米 ② 目安箱 ③ 五公五民

④ 百姓一揆 ⑤ 打ちこわし ⑥ 質素儉約

⑦ 公事方御定書

[解説]

享保の改革：徳川吉宗

・財政再建：新田開発，上げ米，
年貢の定率化

・公事方御定書，目安箱

1716年，徳川吉宗^{よしむね}が八代将軍になったとき，幕府は，旗本^{はたもと}・御家人^{ごけにん}に支給する米にも不足していた。そこで，徳川吉宗は享保^{きょうほう}の改革とよばれる次のような改革を実施した。

- ・武士に質素^{しつそ}・儉約^{けんやく}をすすめた。
- ・上げ米^{あまい}の制を定め，参勤交代^{さんきんこうたい}の負担を軽くすることを条件に，1万石について百石の米を各大名に出させた。
- ・新田開発をすすめた。
- ・豊作・不作にかかわらず年貢^{ねんぐ}の率を一定にし，年貢の率を五公五民に引き上げた。

このような改革によって，幕府の収入は増加し，財政はいったん立ち直った。

さらに，公事方御定書^{くじかたおさだめがき}という法令集をつくらせて裁判の基準とした。民衆の意見を直接聞くために目安箱^{めやすばこ}を設けた。なお，吉宗の時代に江戸で初めての打ちこわしがおこった。

[問題](2 学期中間)

次の各問いに答えよ。

- (1) 18世紀初め、八代将軍になった()は新田開発を進め、年貢の率を引き上げるなどして、財政の立て直しをはかった。()にあてはまる人物の名を書け。
- (2) (1)の人物が行った政治改革を何というか。
- (3) (1)の人物が裁判の基準を示すためにつくった法令集を何というか。
- (4) (1)の人物が人々の意見を聞くために設けた投書箱を何というか。
- (5) 都市で、貧しい人々が米商人などをおそったできごとを何というか。

[解答](1) 徳川吉宗 (2) 享保の改革

(3) 公事方御定書 (4) 目安箱 (5) 打ちこわし

[問題](2 学期期末)

享保の改革について、次の各問いに答えよ。

- (1) 民衆の意見を直接聞くための投書箱を何というか。
- (2) 裁判の基準をまとめた法律は何か。
- (3) 幕府の収入をふやすため、一時的に大名にさし出させたものは何か。

[解答](1) 目安箱 (2) 公事方御定書 (3) 米

[問題](1 学期中間)

享保の改革における上げ米の制とはどのような制度であったか、説明しなさい。

[解答]参勤交代を一時ゆるめるかわりに、幕府に米を献上させる制度。

[問題](2 学期中間)

公事方御定書とはどのようなものか、簡単に説明しなさい。

[解答]裁判の基準となる法令集

[問題](1 学期中間)

享保の改革について、あてはまらないものを1つ選び、記号で答えよ。

- ア 新田開発を進め、年貢の率を引き上げた。
- イ 昌平坂学問所をつくり、朱子学を学ばせた。
- ウ 公事方御定書をまとめ、裁判のよりどころとした。
- エ 上げ米の制を定め、大名に米を出させた。

[解答]イ

[解説]

昌平坂学問所がつくられたのは、寛政の改革のころである。

◆社会歴史の各ファイルへのリンク

<http://www.fdttext.com/dp/sr3/index.html>

◆FdData 中間期末の特徴(QandA 方式)

http://www.fdttext.com/dp/qanda_k.html

◆製品版(パソコン Word 文書：印刷・編集用)
の価格・購入方法

<http://www.fdttext.com/dp/seihin.html>

※ iPhone でリンク先が開かない場合は、
「iBooks」を開いてリンクをタップください。

【Fd 教材開発】 Mail : info2@fdtext.com